

断らない医療

患者主体の医療

地域に根ざし、地域に貢献する医療

川崎幸病院は“断らない医療”を理念にかかげ、

スタッフが一丸となって急性期医療に取り組んでいます。

地域の医療ニーズに応えるため医療の質を高め、

各高度医療センターを中心に診療体制を整えてきました。

また、地域の中核病院として、地域とのパートナーシップを大切にし、

これからも地域に根差して成長していきます。

2年間で、あなたも急性期看護のプロになれる

教育面では、“2年間で、あなたも急性期看護のプロになれる”をコンセプトに、

急性期の現場で活躍できる人材育成に力を入れて、

患者主体の医療の実践につなげていきます。



私たちと一緒に、
“看護で選ばれる病院”を
つくり上げていきましょう



川崎幸病院 副院長
看護部長
佐藤久美子

川崎幸病院に興味を持ってくださり、ありがとうございます。

当院は“断らない医療”を掲げ、地域の救急医療を積極的に担い、地域に根ざした医療の実践に努めてきました。また高度な先進医療も提供しており、その実現のために人材育成に力を入れています。

チーム医療を重視し、看護の専門性を発揮できる人材を育てるために、看護部では幅広い研修やクリニカルラダーを活用した段階的な学びを導入しました。

特に救急医療においては、院内でBLS、ICLSプロバイダーの資格を取得できる制度や、特定行為研修制度（川崎幸Ver.コース）を整え、高度な知識と技術の修得を支援し、「急性期看護のプロフェッショナル」の育成を目指しています。

同時に、スタッフのワークライフバランスも重視し、各自のプライベートと看護師人生を調和させるための職場環境整備にも取り組んでいます。

皆さんはどんな看護をしたいですか？どのような働き方をイメージしていますか？

“患者さんに寄り添った看護をしたい”、“仕事もプライベートも充実させたい”など、それぞれの希望があると思います。

ぜひ、川崎幸病院と一緒に働いてみませんか？

私たちと一緒に“看護で選ばれる病院”をつくり上げていきましょう。



病院概要

開設	1973年 6月(2012年6月新築移転)
院長	山本晋
看護部長	佐藤久美子
病床数	326床
職員数	1,035名(看護師500名)
建物	鉄筋コンクリート造11階建
設備	重症病床53床(ICU/ACU/SCU/CCU/HCU) 手術室10室(ハイブリッド手術室含む) 血管撮影3室、内視鏡4室、放射線治療室

高度医療センター

川崎大動脈センター、川崎心臓病センター、脳血管センター
消化器病センター、放射線治療センター

診療科

内科、外科、循環器内科、脳神経外科、心臓血管外科、麻酔科、泌尿器科、
消化器内科、糖尿病・代謝内科、腎臓内科、人工透析内科、消化器外科、
内視鏡外科、腫瘍外科、肛門外科、乳腺外科、病理診断科、救急科、
放射線診断科、放射線治療科、形成外科、呼吸器外科、婦人科

当院の多彩な看護の舞台を紹介します。各フロアで広がる看護の可能性を探求しましょう！

2F / 救急外来



救急搬送1万台

～多職種がワンチームで断らない医療を実践～

当院は“断らない医療”を理念とし、重症度を問わず、救急医療を必要とするすべての患者さんを受け入れ、患者さんにとって最良の医療を提供しています。二次救急ながら、心停止や、緊急手術を要する脳卒中や急性冠症候群、大動脈疾患などの重症例まで幅広く対応し、患者受入数は年間約2万人に達しています。

4/6F / 手術室



断らない医療を支える
ハイボリューム手術室

当手術室はハイブリッド手術室を含む全10室で稼働しています。特に心臓領域の手術がハイボリュームで、大動脈外科では国内最多の手術件数を実施しています。“断らない医療”という理念に沿い緊急手術も多く、24時間365日緊急対応できる体制を整え、年間約5,600件の手術を行っています。

8F / 川崎心臓病センター



外科と内科がワンチームで
高い医療レベルを実現

心臓外科と循環器内科がワンチームとなったチーム医療が、当センターの大きな魅力の一つです。外科的視点、内科的視点の双方からアプローチし最適な治療法を選択。スムーズな専門治療の提供を実現しています。多職種が互いを理解尊重し良好なコミュニケーションを築き、より強固なハートチームの形成を目指していきます。

一般病棟73床 CCU12床

9F / 腎臓内科・脊椎脊髄外科病棟



患者さんのこれまでの人生を尊重し
これからの人生に寄り添う看護

当病棟は透析導入の患者さんも多く、精神的支援や生活指導がとても大切です。当院は血液透析と腹膜透析の両治療に対応し、病態や患者さんの個別性を尊重し適切と思われる治療法をお勧めしています。患者さんのお気持ちを伺いながら指導を重ね、患者さんの目指す方向に向かって、一緒にベストな道筋をつくっていきます。

9階北病棟39床 入院透析14床(6階)

6F / ICU



全診療科の重症患者を受け入れる
最後の砦

ICUでは感染症を含めた全診療科の重症・術後患者を一手に受け入れています。多様な背景と特殊な環境下におかれた患者・家族のニーズを早期に捉え、集中ケア認定看護師を中心に多職種と協働することで、常に最適な医療提供体制を目指しています。

また、各専門病棟への橋渡しだけでなく、患者さんが安楽に過ごせるよう細かな環境調整や日常生活支援の充実が魅力的な病棟です。

ICU8床

7F / 川崎大動脈センター



国内トップの手術症例数と
治療実績

大動脈疾患の手術症例が豊富で、高度な専門知識・技術が身につく他施設にはない環境が整っています。大動脈瘤破裂などの緊急症例に対してはドクターカーを出動させ、24時間365日緊急手術に対応。国内唯一の大動脈治療専門施設としての誇りと責任を胸に、救える命を救うため、チームで取り組んでいます。

一般病棟42床 ACU1(ICU)8床 ACU2(HCU)8床

9F / 脳神経外科



患者さんと目標を共有し
ともに頑張ることが脳外科看護の魅力

脳神経外科は、24時間365日体制で開頭手術・血管内治療・脊椎脊髄疾患治療の3領域すべてに対応できる診療体制を整えています。

患者さんと目標を共有しともに頑張ることで、麻痺があれながらも一人で着替えができたり、トイレへ行けたりと患者さんは日に日に回復していきます。その姿を見ることが大きな喜びであり、やりがいにつながります。

9階南病棟36床 SCU9床

10F / 消化器病センター



入院から術直後
退院まで一貫したがん看護

ワンフロアで入院から術直後、退院まで一貫したがん看護を提供しています。消化器を主体に呼吸器・乳腺・婦人科疾患を対象とし、外来部門や多職種との連携に重点をおき、退院後を見すえた切れ目のない継続的な看護を実践しています。センター内の教育ローテーションにより、外科系、内科系、周術期看護が学べる環境が整っていることも大きな魅力です。

一般病棟83床 HCU8床

2年間で、あなたも急性期看護のプロになれる

2年間で急性期看護の基礎力がしっかりと身につく教育プログラムを組み立て、一人ひとりの成長のペースに合わせてサポートし、全員が“急性期看護のプロ”になれるように支援しています。

プリセプターシップ

当院のプリセプターは3、4年目の看護師が担います。年齢の近い先輩が新人の気持ちに寄り添って、しっかりと2年目を迎えられるように導いています。また、新卒フォローをプリセプターだけに任せることはなく、病棟全体で新人を育てていこうという環境があり、当院の新卒はみな生き生きとしています。



新人看護師を支え、充実した教育で看護の未来を育み、実践で学ぶ。成長するあなたを私たちがサポートします！

急変対応ができる 看護師を育成します

どんな場面でも、どんな急変にあたってもしっかりと対応できる看護師の育成に力を入れています。1年目はBLS、2年目ではより高度なICLS(二次救命処置)の研修をくり返し実施。一連の手技を反復することで、3年目には急変時にも自然と身体が動くようになります。



4月の1か月研修

学校を卒業して、すぐに臨床に入るのは不安が大きいと思います。そこで、当院では4月の1か月間をすべて集合研修としています。学校で学んだことを復習し、採血などの技術をくり返し練習し、技術チェックを行い自信をつけて5月から病棟デビューします。研修は、認定看護師、薬剤師などの多職種も担当し、専門性の高いわかりやすい講義と新卒看護師からも好評です。



同期全員と 仲良くなれる

研修期間の1か月間は、同期全員と一緒に研修するので、自然と同期同士のつながりが強くなります。また病棟配属後も、毎月の集合研修以外に月に1回リフレッシュタイムとして、同期全員で自由に情報交換をする機会を設けています。配属病棟以外にも仲の良い同期がいることは心強いものです。悩みや互いの成長を共有し合える同期の存在はとても大切です。

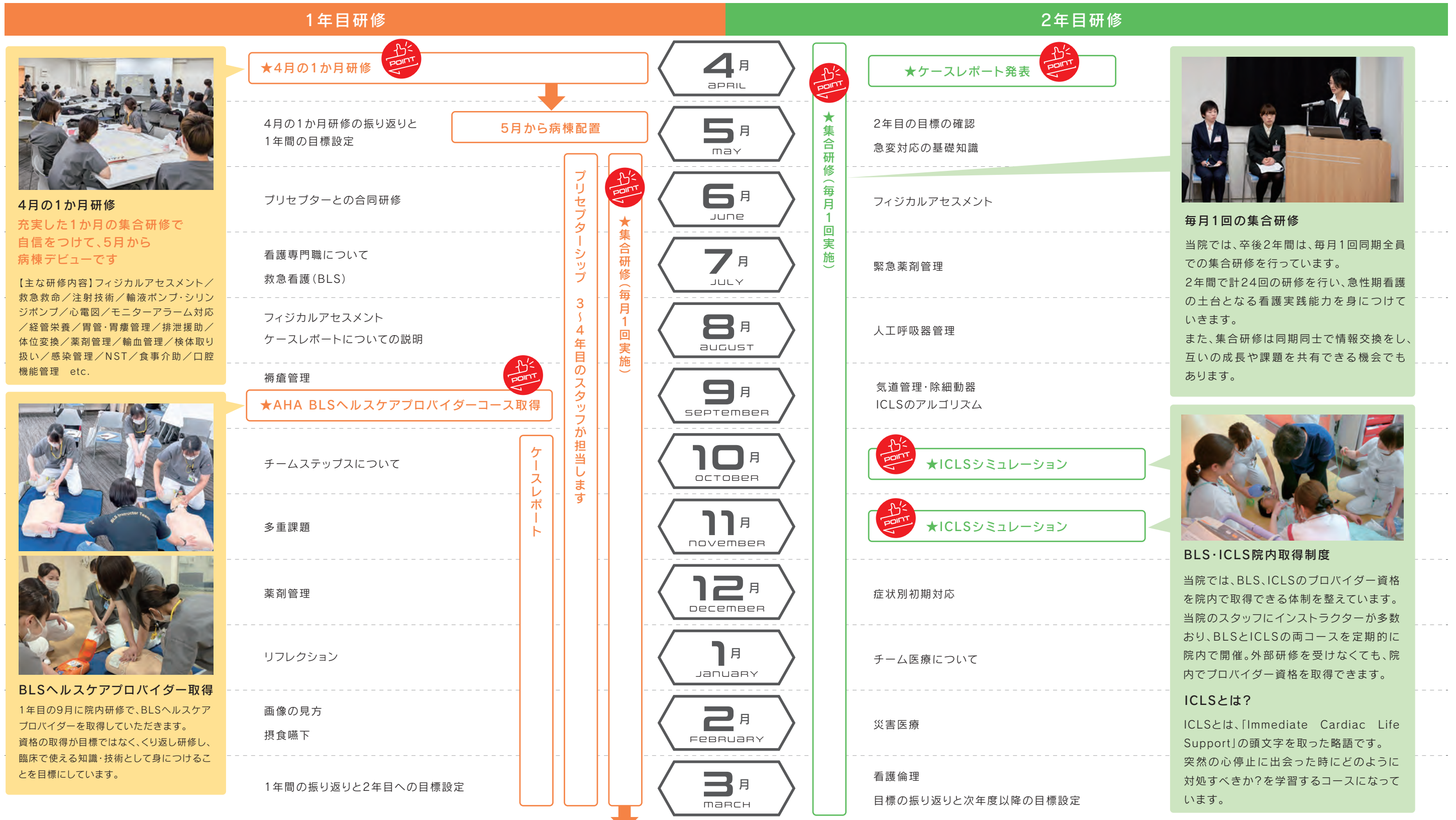
2年間で急性期看護の土台となる看護実践能力が身につく、病院全体で支える研修プログラム！

1年目教育の目標

- ◎BLSの知識・技術を習得し 救急対応として実践に活かすことができる
- ◎基礎看護技術到達目標を達成する
- ◎定期的に自己を振り返り、看護師として成長できる
- ◎現場を想定した演習を重ね、臨床に活かすことができる

2年目教育の目標

- ◎2年目の目標を明確にし、具体的な行動を考える
- ◎問題解決能力の必要性が理解できる
- ◎ICLSについての知識・技術が習得できる
- ◎メンバーシップ・リーダーシップについて理解する
- ◎協働するためのコミュニケーションスキルを身につける
- ◎院内の救急システムを把握し、活用方法を知る
- ◎看護師の基本となる倫理綱領を再確認する
- ◎フィジカルアセスメントの基礎を身に付ける

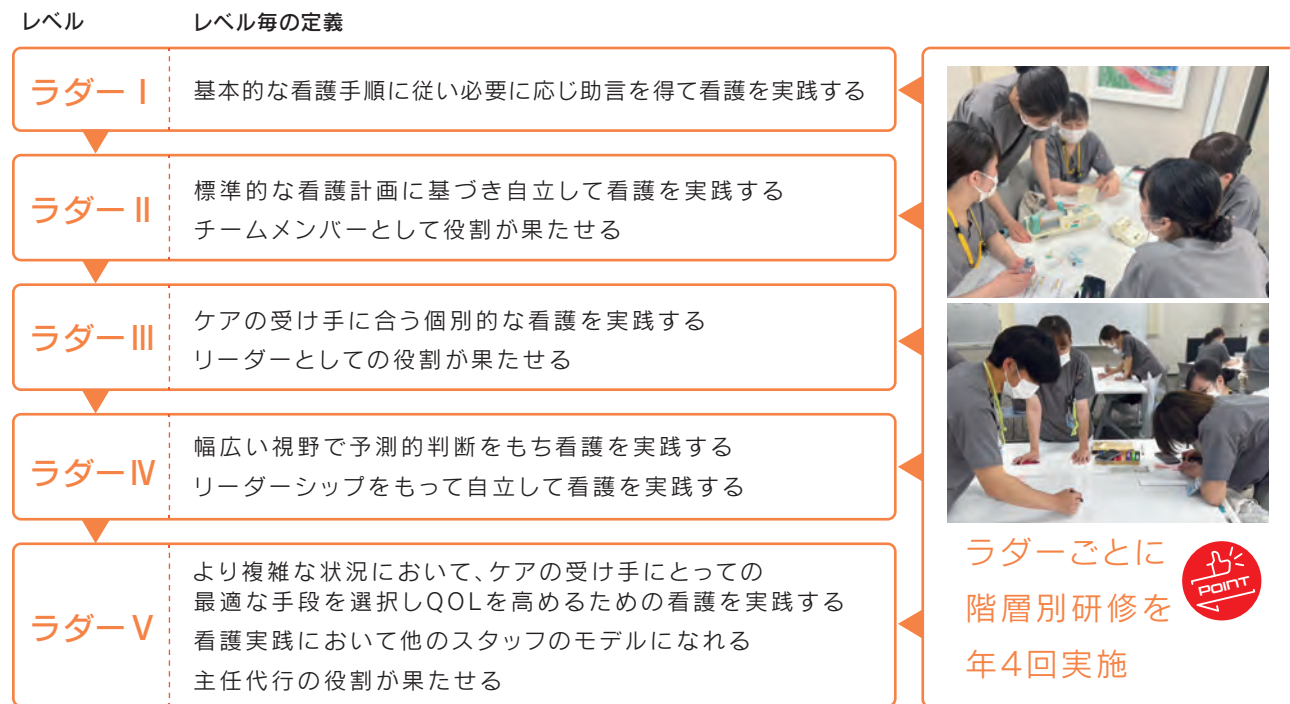


専門的な看護力が身につく研修プログラム

クリニカルラダー

川崎幸病院では、看護師としての看護実践能力を、経験を積みながら段階的に身につけられるように、クリニカルラダーシステムを取り入れています。

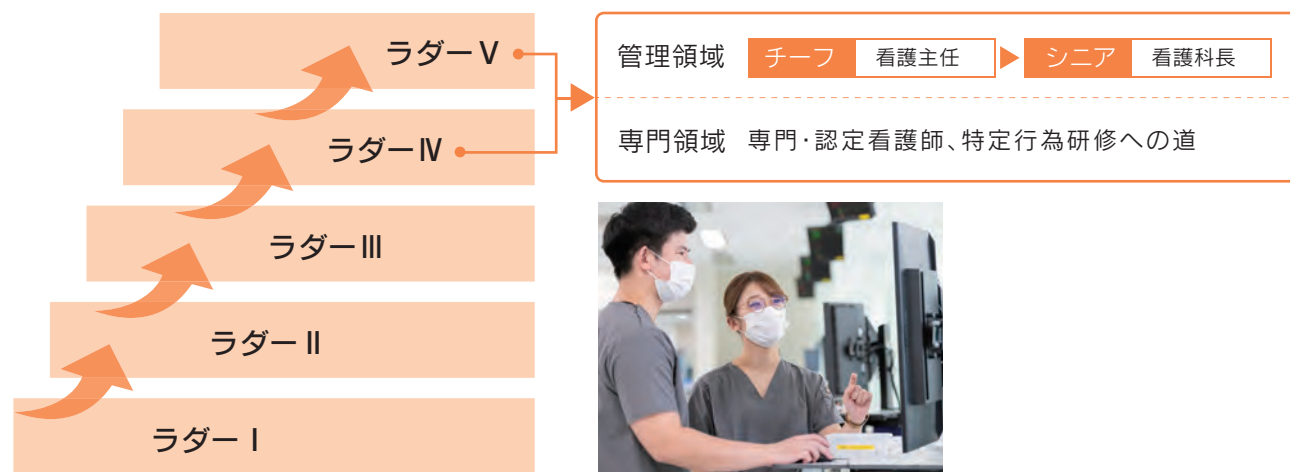
ラダーごとに階層別研修を実施し、自分のレベルに合った研修を受けることで学びを深め、経験を通じて臨床実践能力が向上し、そのプロセスを積み重ねることで、次のラダーレベルに進める仕組みとしています。



2年間で
急性期看護の土台となる
看護実践能力が身につく

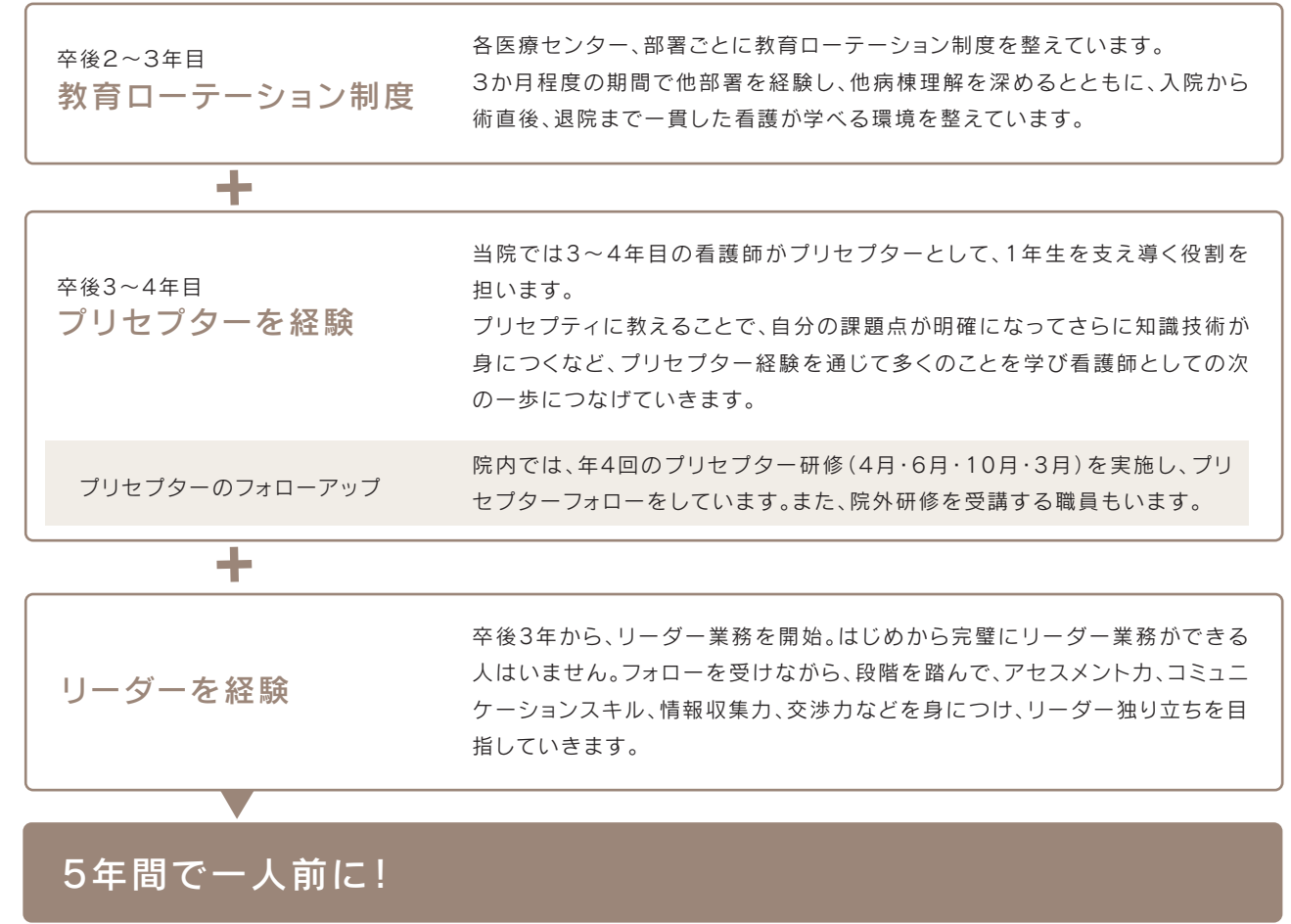
新卒1、2年目はクリニカルラダーレベルⅠとなります。
当院では、ラダーレベルⅠに、救急看護に特化した
プログラムを追加導入しており、
2年間で救急対応ができる看護師の育成を目指しています。

継続教育キャリアアッププラン



救急看護、急性期看護が身につく充実の研修

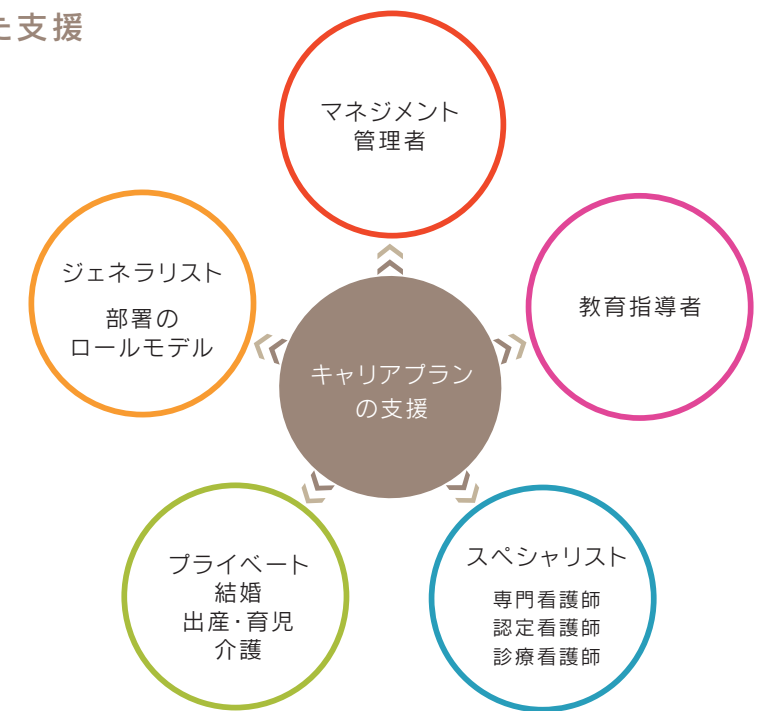
3年目以降のキャリアアップについて



キャリアアップの方向性に合わせた支援

ラダーⅢ以降は、個々のキャリアアップの方向性に合わせた支援をしていきます。
また、結婚・出産等のライフステージの変化に合わせてキャリアを形成していけるように、働き方の選択肢や保育室等の福利厚生を充実させていきます。

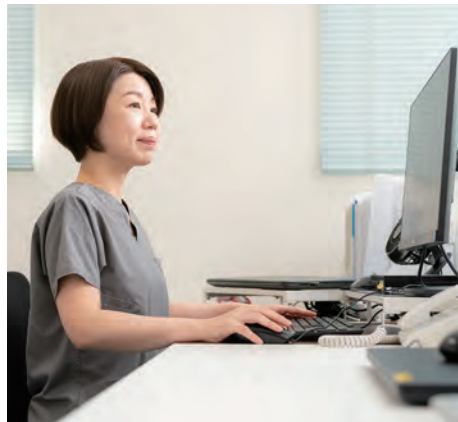
特定の分野を極めていくスペシャリスト
チームを率いるジェネラリスト
現場を統制するマネジメント・管理者
看護の能力開発に関わる教育者



次のステップへ、知識と技術を深めた専門領域での活動を全面的に支えます。

感染管理認定看護師

2010年入職 現東京医療保健大学卒 高橋由記子



基本的な感染対策を、 当たり前実践できる風土をつくりたい

私は病棟の管理者を経験したのち、前任の感染管理認定看護師とともにICT(感染制御チーム)として業務をしていました。まさにその時にCovid-19パンデミックに直面しました。Covid-19は私たちの生活を一変させ、世界中で多くの命が失われました。この体験から“専門的な知識に基づいて、患者さんと職員の安全を守りたい”という気持ちが強くなり、認定取得を決意しました。



感染管理は業務の性質上、組織横断的に動き、各部門長と調整をしていく必要があります。苦労も多いですが、周囲の協力を得ながら、自分の手で仕組みをつくり具現化していくことはとても大きなやりがいとなります。患者さんと職員の安全を確保するために、“基本的な感染対策を当たり前実践できる風土づくり”を目指して、日々取り組んでいます。

今後は、感染対策の基盤整理をして次の世代にしっかりと繋げていきたいと考えています。次の世代がやりたいことを実現できるようにサポートをしていきたいと思っています。

集中ケア認定看護師

2012年入職 帯広高等看護学院卒 種市朋華



急性期看護のプロを志す看護師に、 根拠のある知識をもって教えていきたい

私はこれまで臨床指導に携わってきましたが、指導をする中で自分の知識の曖昧さを感じる場面が多々ありました。「急性期看護を身につけたい」という想いで当院を選んで入職してくれる看護師の皆さんに対して、しっかりと根拠のある知識をもって教えていきたい。このような想いが日に日に強くなり、認定取得を決意しました。

今は、所属しているICUで病棟の看護の質向上に取り組んでいます。ICU所属のもう1名の集中ケア認定看護師と協働し、PICS(集中治療後症候群)、急変対応、家族看護などをテーマに勉強会を企画し実施しています。人工呼吸器については、院内研修の場でも講義を担当しています。

今後も、認定看護師としての専門知識を活かし、スタッフが臨床で日々ぶつかる疑問にタイムリーに応えていきたいと考えています。すべてのスタッフが、患者さんにその時々状況に応じたベストな看護が実践できる、そのようなICUを目指して、これからも貢献していきたいと思っています。



診療看護師

2017年入職 国際医療福祉大学卒 新井淳一郎



活躍のフィールドを広げ、 より良質な医療の提供に貢献していきたい

私は手術室と救急外来で勤務していましたが、救急患者が集中すると、医師や麻酔科医の手が回らず、やむを得ず患者さんを待たせてしまう場面もあり、ジレンマを感じていました。そんな時に、診療看護師(NP:ナース・プラクティショナー)の存在を知り、“目の前の患者さんを待たせずに、タイムリーに最良の医療を提供したい”という想いが強くなり、診療看護師を目指すことを決めました。



診療看護師となった今は、救急外来での初期診察、手術中の麻酔管理、術前訪問による患者不安の軽減などを行っています。また当院の看護の質向上のために、教育にも積極的に関わっていきたくと思っています。

今後のビジョンとしては、論文等で外部にアウトプットをしていき、診療看護師の資格制度化を推進できればと考えています。また個人的には、高度実践看護師の最高学位であるDNP(Doctor of Nursing Practice)を目指しています。

診療看護師の活躍のフィールドを広げ、より良質な医療を提供できるように貢献していきたいと思っています。

支援制度

専門領域での活動を 積極的にサポートします

認定看護師、診療看護師さんには、各々の専門知識を十分に発揮し、当院の看護の質とレベルを向上していただきたいと願っています。そのために、必要な支援は積極的に行い、働きがいのある環境づくりをサポートします。

当院は、2023年に特定行為4区分において「特定行為研修指定研修機関」として指定を受けました。

これにより、当院で特定行為研修を修了することで下記の4区分の特定行為の実施が可能になりました。

特定行為研修制度



呼吸器(気道確保に係るもの)関連

呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連

栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連

循環動態に係る薬剤投与関連

仕事もプライベートも大切に！

職員用社宅



駅近、病院近の 都市型ワンルームマンション

川崎駅近のワンルームマンションをフロア借りまたは1棟借りして、職員用社宅として使用しています。
お部屋は300室以上用意しており、川崎市在住の方でも入居可能。社宅の周辺には大型ショッピングセンター・映画館・スポーツジム・飲食店・大型書店が立ち並び、最寄り駅のJR川崎駅へのアクセスも良好です。
通勤はもちろんプライベートにも便利と職員から好評の社宅です。

職員食堂

安くておいしい、 コストパフォーマンス抜群の ランチメニュー！



川崎幸病院の食堂は安くておいしい！
メニューも日替わりでランチの時間が楽しめ、職員から大好評です。
Aランチ(お肉系)、Bランチ(お魚系)、麺類(パスタ・ラーメン)、丼、小鉢など選択肢も豊富。
そして、週1回スペシャルメニューが提供されます！



焼き立てふっくらパンも魅力！

11階ラウンジでは、院内で焼いているパンが買えます。
お惣菜系やスイーツ系など約40種類と種類も豊富。
日替わりで美味しそうなパンが並びます。
1日2回焼いているので、タイミングが良ければ焼き立てパンを食べることもできます。

保育室



安心の24時間保育で、 子育てとキャリアアップの 両立を支援

夜勤や土日勤務の時も安心の24時間365日保育の保育園を用意しています。
2014年築の3階建て屋上庭園付きのきれいな保育園で、大切な子育てとキャリアアップの両立を支援します。
当院は育児休暇後の復職率が高く、結婚・出産後もワークライフバランスを保ちながら、キャリアプランが実現できる病院です。

まずは、病院説明・見学会・インターンシップにご参加ください。



川崎幸病院の理念である“断らない医療”に基づき、「2年間で急性期看護のプロになれる」という目標を掲げて教育のサポートを行っています。
高度な医療・看護を学び、患者・家族に寄り添う看護を提供できるよう、スタッフと一緒に頑張りましょう。

病院見学会・インターンシップ【申し込み方法】ホームページからお申し込みください。

病院説明・見学会 日程はホームページをご覧ください

インターンシップ オーダーメイド型インターンシップ
体験を希望する病棟・部署が選べます

お問合せ・資料請求は e-mail:kango-saiyou@saiwaihp.jp



スマホからも
エントリーいただけます